

環境厚生委員会資料

1 予算案

第1号議案	令和7年度島根県一般会計補正予算（第11号） [関係分]	・・・1
第3号議案	令和8年度島根県一般会計予算 [関係分]	・・・4
第53号議案	令和7年度島根県一般会計補正予算（第12号） [関係分]	・・・37

2 報告事項

(1)	令和8年4月組織改正の概要（国スポ・全スポの開催に向けた体制の強化）について	・・・48
(2)	島根県環境総合計画の一部改定（循環型社会の形成）について	・・・50
(3)	（仮称）浜田リンクス太陽光発電所に係る環境影響評価について	・・・52

【別冊資料】

別冊1 島根県環境総合計画（改定案）

令和8年3月5日・6日

環境生活部

令和7年度島根県一般会計補正予算（第11号）の概要
（令和7年度2月補正（初日上程））

課別予算額（一般会計）

（単位：千円）

課名	補正前の額 A	補正額 B	計 A+B
環境生活総務課	361,832	0	361,832
人権同和対策課	291,460	0	291,460
文化国際課	2,179,028	0	2,179,028
スポーツ振興課	1,748,755	0	1,748,755
島根かみあり国スポ・ 全スポ準備室	947,156	341,688	1,288,844
自然環境課	945,288	87,086	1,032,374
環境政策課	1,108,974	0	1,108,974
廃棄物対策課	213,340	286,304	499,644
合計	7,795,833	715,078	8,510,911

令和7年度2月補正予算(初日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
合 計	7,795,833	715,078	8,510,911	[補正額の財源] 国 273,904千円 県債 5,000千円 一般財源 436,174千円
島根かみあり国スポ・全 スポ準備室	947,156	341,688	1,288,844	[補正額の財源] 一般財源 341,688千円
国民スポーツ大会競技 施設整備事業費	218,506	341,688	560,194	国の経済対策のための補正予算に伴い、県立施設 のナイター照明LED化工事を実施 [実施箇所] 県立サッカー場、横田高校ホッケー 場 ※ 補正額全額を繰越明許費で要求
自然環境課	945,288	87,086	1,032,374	[補正額の財源] 国 5,000千円 県債 5,000千円 一般財源 77,086千円
三瓶自然館サヒメル等 の施設管理運営事業費	451,497	77,086	528,583	国の経済対策のための補正予算に伴い、三瓶自然 館等の照明LED化工事を実施 ※ 補正額全額を繰越明許費で要求
隠岐ユネスコ世界ジオ パーク活用推進事業費	204,977	10,000	214,977	国の経済対策のための補正予算に伴い、県管理 の自然公園施設の整備を実施 [実施箇所] 油井ノ池園地(隠岐の島町) ※ 補正額全額を繰越明許費で要求
廃棄物対策課	213,340	286,304	499,644	[補正額の財源] 国 268,904千円 一般財源 17,400千円
海岸漂着ごみ等の回 収・処理対策事業費	8,000	286,304	294,304	国の経済対策のための補正予算に伴い、事業者 による海岸漂着物の回収・処理を実施 ※ 補正額全額を繰越明許費で要求

繰越明許費補正

(追加分)

繰越明許費の限度額を設定する。

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	令和7年度 予算額	繰越 限度額	繰越理由
島根かみあり 国スポ・全スポ 準備室	2 総務費	2 企画費	国民スポーツ大会競 技施設整備事業費	560,194	341,688	補助決定遅延による (補正額を全額繰越)
自然環境課	4. 衛生費	5. 環境費	三瓶自然館サヒメル 等の施設管理運営 事業費	528,583	77,086	補助決定遅延による (補正額を全額繰越)
廃棄物対策課	4. 衛生費	5. 環境費	海岸漂着ごみ等の 回収・処理対策事業 費	294,304	286,304	補助決定遅延による (補正額を全額繰越)

(変更分)

11月議会で議決された限度額を変更する。

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	補正前 限度額	補正額	補正後 限度額	繰越理由
自然環境課	4. 衛生費	5. 環境費	隠岐ユネスコ世界ジ オパーク活用推進事 業費	22,000	10,000	32,000	補助決定遅延によ る (補正額を全額繰 越)

令和8年度島根県一般会計予算の概要 (令和8年度当初予算)

課別予算額(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8年度当初 (A)	R7年度当初 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
環境生活総務課	352,010	358,837	▲ 6,827	98.1%
人権同和対策課	215,183	289,457	▲ 74,274	74.3%
文化国際課	5,276,440	2,153,790	3,122,650	245.0%
スポーツ振興課	1,817,828	1,680,541	137,287	108.2%
島根かみあり国スポ・ 全スポ準備室	1,171,462	507,903	663,559	230.6%
自然環境課	998,179	942,068	56,111	106.0%
環境政策課	1,134,279	1,091,393	42,886	103.9%
廃棄物対策課	262,142	209,898	52,244	124.9%
合計	11,227,523	7,233,887	3,993,636	155.2%
うち一般職給与費	1,213,403	1,073,919	139,484	113.0%
うち事業費	10,014,120	6,159,968	3,854,152	162.6%

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8当初	R7当初	比較	備考
事業名称				
環境生活総務課	352,010	358,837	▲ 6,827	[財源] 国 14,832千円 寄・分 14,500千円 その他 31,016千円 一般財源 291,662千円
1 一般職給与費	180,657	185,821	▲ 5,164	一般職員 21人
2 環境保全功労者知事 感謝状贈呈事業費	60	60	0	・ 環境保全功労者知事感謝状贈呈経費
3 県民との協働のため の環境づくり事業費	751	917	▲ 166	・ 県民いきいき活動促進委員会開催経費 430千円 ・ 協働推進研修会等開催費 321千円
4 活動団体の自立促進 と活性化事業費	35,820	35,483	337	【別紙項目1】 ・ 県民活動拠点整備事業 11,259千円 ・ NPOへの総合的な支援事業 9,561千円 ・ NPO活動総合支援融資制度事業 15,000千円
5 しまね社会貢献推進 事業費	31,352	30,878	474	【別紙項目2】 ・ しまね社会貢献基金造成事業 14,500千円 ・ 県民いきいき活動促進事業 15,000千円 ・ 制度推進事業 1,836千円
6 企画立案・総合調整 事務費	696	1,036	▲ 340	・ 消費生活審議会の開催経費
7 消費者啓発推進事業 費	7,882	6,357	1,525	・ 消費者向け啓発担当職員人件費 3,670千円 ・ 消費者問題等にかかる啓発事業費 3,926千円 ・ 消費者問題出前講座の実施 286千円
8 学校における消費者 教育の推進事業費	6,521	7,139	▲ 618	・ 消費者教育推進のための関係機関との連携費 6,013千円 ・ 消費者教育の実践研究費 508千円
9 消費者団体等活動支 援事業費	5,484	6,403	▲ 919	【別紙項目3】 ・ 地域消費者活動支援事業 273千円 ・ 消費者団体活動支援 4,830千円 ・ 地域見守りネットワーク支援 381千円
10 消費生活協同組合の 指導事業費	407	407	0	・ 消費生活協同組合の運営状況調査等指導事務
11 相談・苦情処理事務 費	41,346	37,459	3,887	・ 消費生活相談員人件費 28,117千円 ・ 指定消費生活相談員人件費 9,064千円 ・ 職員等研修参加支援事業 3,265千円
12 消費者行政推進・強 化事業費	2,138	1,943	195	・ 島根県消費者行政強化補助金(市町村補助金)
13 犯罪のない安全で安 心なまちづくり推進事 業費	3,452	3,306	146	【別紙項目4】 ・ 犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進 999千円 ・ 犯罪被害者等支援の推進 2,453千円
14 県民生活諸費	6,882	7,643	▲ 761	
15 環境生活諸費	28,562	33,985	▲ 5,423	

令和8年度当初予算主要事業の概要（環境生活総務課）

※ 金額は令和8年度当初予算額

※ () 内は一般財源

1 活動団体の自立促進と活性化事業費

35,820 千円 (20,020 千円)

地域の課題解決に自主的・自発的に取り組むNPOの活動が活発化し、より良い地域づくりが展開できるよう、団体の基盤強化及び人材育成支援等を行い、自立促進、活性化を図る。

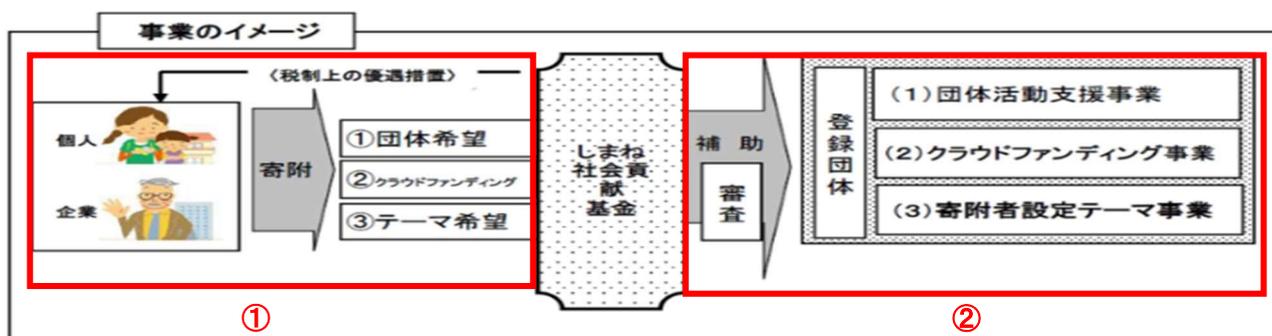
- ① 県民活動拠点整備事業 11,259 千円 (11,259 千円)
 - ・しまね県民活動支援センター（(公財)ふるさと島根定住財団）の運営費の助成
- ② NPOへの総合的な支援事業 9,561 千円 (8,761 千円)
 - ・NPO実務者研修の実施、行政書士等による専門相談の実施（人材育成支援）
 - ・資金調達に関するセミナーの開催、組織運営に必要なガバナンス等の研修の開催（基盤強化支援）
 - ・NPO交流会の実施（自立促進支援）
 - ・県民活動応援サイト「島根いきいき広場」の運営、情報誌「いきいきネット」の発行、SNSを活用した情報の発信、県民いきいき活動奨励賞の実施(情報発信支援、普及啓発)
- ③ NPO活動総合支援融資制度事業 15,000 千円 (0 千円)
 - ・資金調達の手段が限られているNPO法人に対し、金融機関と協調し低金利融資を実施

2 しまね社会貢献推進事業費

31,352 千円 (1,836 千円)

県民や企業などから募った寄附金で造成する基金を活用し、NPOの活動を支援することにより、県内の社会貢献活動のより一層の推進と活性化を図る。

- ① しまね社会貢献基金造成事業 14,500 千円 (0 千円)
- ② 県民いきいき活動促進事業 15,000 千円 (0 千円)



- ③ 制度推進事業 1,836 千円 (1,836 千円)
 - ・しまね社会貢献基金のパンフレットの作成、寄附者設定テーマ事業審査会の開催等

3 消費者団体等活動支援事業費

5,484 千円 (207 千円)

消費者被害を防ぐため、地域や職域における消費者教育や啓発を担う消費者リーダーの活動や、地域の見守りを行う団体の活動を支援

- ① 地域消費者活動支援事業 273 千円 (137 千円)
消費者リーダー育成講座の実施
- ② 消費者団体活動支援 4,830 千円 (70 千円)
消費生活の安定向上を目的として、適格消費者団体の認定を目指して活動する団体を支援
- ③ 地域見守りネットワーク支援 381 千円 (0 千円)
市町村へ地域見守り活動についての研修等を実施

4 犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業費

3,452 千円 (3,263 千円)

犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進及び犯罪被害者等支援の推進のため、警察等関係機関と連携をとりながら普及啓発等の取組を実施。また、犯罪被害者等に対する見舞金の給付を実施

- ① 犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進 999 千円 (999 千円)
・安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクールの実施
・地域防犯ボランティア交流会の実施
・優良防犯団体表彰の実施
- ② 犯罪被害者等支援の推進 2,453 千円 (2,264 千円)
・犯罪被害者等見舞金の給付
・ラッピングバスへの広告掲出による支援窓口周知
・犯罪被害者等への理解を深めるための講演会の開催
・被害者支援窓口リーフレット作成
・市町村担当者会議及び研修の開催

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8当初	R7当初	比較	備考
事業名称				
人権同和対策課	215,183	289,457	▲ 74,274	[財源] 国 42,212千円 その他 1,291千円 一般財源 171,680千円
1 一般職給与費	93,193	92,228	965	一般職員 11人
2 人権啓発事業費	18,937	20,951	▲ 2,014	・ 人権啓発フェスティバル開催経費(法務省委託事業) 5,593千円 ・ 地域人権啓発活動活性化事業(法務省委託事業) 4,998千円 ・ L G B T等に関する相談支援事業 2,340千円
3 人権啓発指導者養成事業費	1,872	1,872	0	・ 人権・同和問題を考える団体の研修費用 1,100千円 ・ 地域指導者養成講座開催経費 772千円
4 人権研修事業費	39,397	36,514	2,883	・ 人権・同和問題啓発指導講師人件費 19,627千円 ・ 研修・啓発事務補助人件費 17,942千円
5 人権施策調整事務費	2,820	595	2,225	・ 人権施策推進協議会開催経費 299千円 ・ 人権問題に関する県民意識調査事業 2,170千円 ・ インターネット上の誹謗中傷対策経費 253千円
6 隣保館運営等事業費	48,016	125,660	▲ 77,644	・ 隣保館運営等助成事業 46,506千円
7 同和対策調整事務費	5,526	5,526	0	・ 同和問題に関する啓発事業等への補助
8 国庫支出金返還金	1,291	1,278	13	・ 隣保館運営等事業費補助金の額の確定に基づく返還経費
9 人権対策諸費	4,131	4,833	▲ 702	

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8当初	R7当初	比較	備考
事業名称				
文化国際課	5,276,440	2,153,790	3,122,650	【財源】 国 866,843千円 使・手 131,259千円 県債 2,634,400千円 その他 117,544千円 一般財源 1,526,394千円
1 一般職給与費	269,300	250,803	18,497	一般職員 32人
2 しまね国際センターの支援監督費	41,722	39,088	2,634	・ (公財)しまね国際センター委託に係る人件費等
3 旅券事務費	32,351	30,675	1,676	・ 旅券法に定める事務を遂行するために必要な経費等
4 国際海外協力事業費	1,999	1,231	768	・ JICA日系社会研修員に係る研修費
5 多文化共生推進事業費	104,350	227,242	▲ 122,892	【別紙項目1】 ・ 多文化共生推進事業 63,515千円 ・ しまね国際研修館の除却・維持管理 40,835千円
6 外国青年招致事業費	23,737	27,486	▲ 3,749	・ 国際交流員招致に係る人件費等 21,903千円
7 国際交流推進事業費	35,640	24,162	11,478	・ 海外県人会ネットワーク事業【別紙項目2】 17,593千円 ・ 事務協議団等の派遣・受入等事業 5,724千円 ・ 交流の翼事業(島根プログラム) 2,779千円 ・ 交流の翼事業(中国プログラム) 929千円
8 文化芸術振興支援事業費	25,224	21,278	3,946	【別紙項目3】 ・ 文化芸術次世代育成支援事業 7,500千円 ・ 島根県民文化祭の開催 6,885千円
9 県立美術館事業費	571,229	545,072	26,157	・ 美術館管理運営事業(指定管理料) 415,169千円 (人件費や物価の上昇を反映 25,107千円) ・ 企画展総合事業 106,144千円 ・ 美術館維持管理事業 24,864千円 ・ 美術品保存修復事業 4,567千円 ※ 北斎コレクション活用事業【別紙項目4】
10 芸術文化センター事業費	588,030	629,389	▲ 41,359	・ 芸術文化センター管理運営事業費(指定管理) 477,150千円 (人件費や物価の上昇を反映 87,586千円) ・ 企画展の開催経費等 67,227千円 ・ 芸術文化センター維持管理事業 19,863千円 ・ 萩・石見空港利用促進事業 15,790千円 ※ 北斎コレクション活用事業【別紙項目4】
11 島根県民会館事業費	300,042	306,681	▲ 6,639	・ 島根県民会館管理運営事業(指定管理料) 288,051千円 (人件費や物価の上昇を反映 32,800千円)
12 県立美術館整備事業費	64,287	22,220	42,067	・ 冷温水発生器1号機部品交換 44,927千円 ・ 非常用発電設備整備(点検) 19,360千円
13 芸術文化センター整備事業費	180,335	10,204	170,131	【別紙項目5】 ・ ホール映像・音響関係設備改修 165,885千円 ・ 情報通信基盤システム更新 10,204千円 ・ 照明設備LED化(設計費) 4,246千円
14 島根県民会館整備費	3,025,168	4,730	3,020,438	【別紙項目6】 ・ 大・中ホールのリニューアル等 2,988,508千円
15 文化国際諸費	13,026	13,529	▲ 503	

債務負担行為(一般会計)

事項/内容	期間	限度額
多文化共生推進事業費 (しまね国際研修館の除却)	令和8年度から 令和9年度まで	66,358千円

令和8年度当初予算主要事業の概要（文化国際課）

※ 金額は令和8年度当初予算額

※ () 内は一般財源

1 多文化共生推進事業費

104,350千円(41,795千円)

外国人住民が安心して暮らすことができる生活環境づくり、外国人住民と日本人住民が共に支え合う地域づくり等を推進

【(公財)しまね国際センターへの委託事業】

- ① 多言語によるワンストップ型相談窓口の設置 26,247千円(16,247千円)
 - ・多様化、複雑化する外国人住民からの相談に相談員が対応
 - ・専門家(弁護士・臨床心理士)と連携した相談体制を整備
 - ・外国人住民相談対応にかかる市町村との連携[設置場所]
(公財)しまね国際センター(松江)
- ② 日本語学習の環境整備 24,133千円(7,378千円)
 - ・日本語学習の機会を提供するため、地域・企業訪問型、オンライン型の日本語教室を開催
 - ・地域の日本語教室の維持、活性化等に取り組む市町村への支援
 - ・日本語教育人材の育成、確保
- ③ 「外国人地域サポーター」の配置 1,879千円(1,879千円)
行政・支援団体等との橋渡し役としてサポーターを配置
- ④ 外国人住民への情報発信 721千円(721千円)
SNSを活用した情報伝達を実施

【県直営事業】

- ① 多文化共生意識の醸成 507千円(507千円)
多文化共生の理解促進のためセミナーを開催
 - ② 国際交流員の配置、招致関係費 9,653千円(9,653千円)
外国人住民の多いブラジル、ベトナム出身の国際交流員を配置
 - ③ しまね国際研修館の除却 39,812千円(4,012千円)
老朽化した施設の除却
- 債務負担行為(R8～R9年度)66,358千円

2 海外県人会ネットワーク事業費

17,593千円(17,593千円)

ブラジルへ移住された方々の開拓の苦難と努力を労い、在伯島根県人会と島根県の絆を一層深めるため、在伯島根県人会創立70周年記念事業へ訪問団を派遣

【在伯島根県人会創立70周年記念式典】

期日：R8年8月30日(日)

会場：在伯島根県人会交流センター(サンパウロ市)

- ① 訪問団の派遣 7,424千円(7,424千円)
知事をトップとした訪問団を派遣
- ② 伝統芸能団の派遣 8,220千円(8,220千円)
島根の伝統芸能である石見神楽団を派遣

3 文化芸術振興支援事業費

25,224 千円 (12,384 千円)

文化芸術の振興を図るため、県民参加機会の提供、将来の担い手の育成等の取組を推進

- ① 文化芸術次世代育成支援事業 7,500 千円 (5,000 千円)
文化芸術団体による子どもたちへの発表機会や鑑賞機会の提供、ワークショップを実施
- ② 島根県民文化祭の開催 6,885 千円 (6,885 千円)
県総合美術展(県展)、硬筆アート展、文芸作品公募、文芸フェスタを実施
- ③ 教育文化振興基金積立金 7,826 千円 (0 千円)
教育文化振興基金利子収入の基金への積立金

4 北斎コレクション活用事業費

25,000 千円 (25,000 千円)

県内外から美術館への来館者を増やし新規ファンの獲得を図るため、所蔵する世界有数の葛飾北斎コレクションの魅力を県内外に発信するとともに、誘客に向けた取組を強化

県立美術館では、北斎展示室で常設展示

石見美術館では、企画展を開催(会期 R8年9月19日(土)～R8年11月9日(月))

- ① 全国向けPR・広報等の実施 12,460 千円 (12,460 千円)
 - ・美術雑誌等への広告掲載やツアー造成に向けたPR活動など、県外からの誘客に向けた取組を実施
 - ・県外での出張北斎ワークショップを開催
 - ・浮世絵コレクション特設サイトを拡充
 - ・出雲空港到着ロビーに電照広告を設置
- ② 県民向けPR・広報等の強化 8,740 千円 (8,740 千円)
 - ・館内外での北斎ワークショップを実施
 - ・北斎コレクションの特集番組を制作・放送
- ③ 北斎コレクション基礎資料作成 3,000 千円 (3,000 千円)
コレクションデータベースの構築
- ④ 作品の保存・修復 800 千円 (800 千円)
作品の価値を維持するとともに、展示が可能な状態にするための保存・修復を実施

5 芸術文化センター整備事業費**180,335千円(23,135千円)**

芸術文化センターは開館から20年が経過し、設備・備品が経年劣化しているため、計画的に修繕・更新を実施している。引き続き施設の魅力向上、機能アップと利用促進を図るため、映像・音響関係設備の改修等を実施

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ① 情報通信基盤システム(リース契約) | 10,204千円(10,204千円) |
| ② 照明関係設備設計費(小ホール等) | 4,246千円(446千円) |
| ③ 映像・音響関係設備整備 | 165,885千円(12,485千円) |
- ・プロジェクター及び周辺機器更新(小ホール)
高画質(4K)の映像入力・デジタル信号に対応
 - ・ワイヤレスマイク更新(大・小ホール)
高性能な集音機能によりクリアで高音質な音声を提供
 - ・映像・音声用専用デジタル回線設置(大・小ホール)
高解像度の映像や高音質の音声を安定して伝送
 - ・ホール難聴者システム更新(大・小ホール)
ヘッドフォンや補聴器を使用して、場内の音声をクリアに聞くことが可能

6 島根県民会館整備費**3,025,168千円(116,601千円)**

より魅力的な公演の観覧・上演、利用時の快適性向上等を目的に、舞台設備や音響設備の更新、老朽化したホール客席の更新や空調設備の改修、トイレのバリアフリー化等を実施

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 大・中ホールのリニューアル | 2,315,857千円(81,390千円) |
|-----------------|-----------------------|
- 舞台機構、客席椅子、舞台照明設備、舞台音響設備、舞台映像設備及び緞帳の更新、舞台床張替等
- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| ② 館内空調設備、会議室等音響及び照明器具(LED化)の更新等 | 548,890千円(2,090千円) |
|---------------------------------|--------------------|
- 大ホールの空調音低減、会議室毎の温度設定による快適性の向上等
- | | |
|---------------|---------------|
| ③ トイレのバリアフリー化 | 65,806千円(6千円) |
|---------------|---------------|
- トイレ洋式化、段差解消等により衛生的で安全な空間を提供
- | | |
|---------|-------------------|
| ④ 楽屋の改修 | 21,540千円(1,640千円) |
|---------|-------------------|
- VIP利用を想定したトイレ・洗面台等の整備による快適性の向上
- | | |
|-------------|-------------------|
| ⑤ 鋼製建具PCB対策 | 36,415千円(2,815千円) |
|-------------|-------------------|
- 低濃度PCB含有材の除去
- | | |
|------------------------|--------------------|
| ⑥ 会館事務室機能や館内備品等の一時移転 | 26,660千円(26,660千円) |
| ⑦ 休館期間中における館外での文化事業の強化 | 10,000千円(2,000千円) |
- [休館予定期間]
- ・大ホール R8年3月1日～R9年12月末
 - ・中ホール・リハーサル室 R8年3月1日～R9年10月末
 - ・全館休館 R8年6月1日～R9年10月末

「しまね国際センター」の移転について【補足説明資料】

1. 移転先

松江市幸町

(県営幸町団地内の旧デイサービス棟跡)

J R 松江駅から 1.2 キロ、徒歩 15 分。
当施設から 100m のところにバス停もあり、
車を持たない多くの外国人住民にとって
好立地。



2. 移転スケジュール等

- ・ R 8 年 4 月 15 日 (水) ~ 新施設での業務開始
- ・ R 8 年 4 月 26 日 (日) 新施設開所式
- ※ 4 月 14 日 (火) までは、旧施設で業務を行う

3. 「しまね国際センター (S I C)」で行う主な業務

(1) 多言語による相談窓口

- ・ 外国人住民の生活上の様々な相談に多言語で対応
対応言語 : 最大 24 言語 (相談員と多言語コールセンターによる対応)
対応方法 : 対面、電話、メール等
相談対応時間 : 月曜~金曜 9:00~17:00
第 4 日曜日 9:00~17:00 【拡充】
専用相談室の設置 : プライバシーに十分配慮した相談体制 【拡充】

(2) 日本語学習の環境整備

- ・ 地域日本語教育相談窓口
外国人住民、企業等の日本語教育に関する相談に対応
- ・ 外国人住民へ日本語学習を実施
対応方法 : 対面、オンライン
※ 外国人住民が自立した生活を送り、周囲と良好な人間関係を築くために
必要となる日本語を学ぶため、学習プログラムをレベルに合わせて
リニューアル 【拡充】

(3) 多文化共生意識の醸成

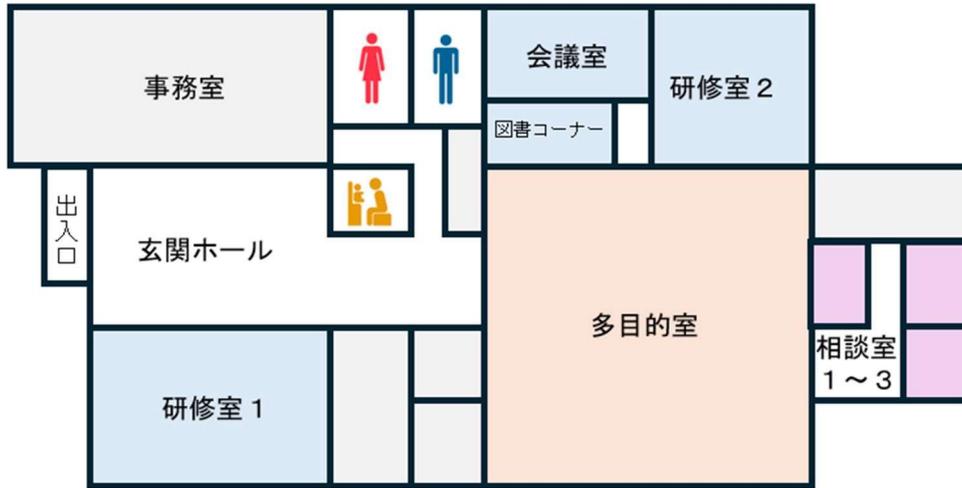
- ・ 国際交流員による外国の文化、慣習等を紹介する講座 【拡充】
- ・ 外国人住民と日本人住民の交流イベント [S I C 自主事業]

(4) 人材育成

- ・ 日本語学習の担い手育成のための講座
- ・ コミュニティ通訳の担い手育成のための講座 [S I C 自主事業]

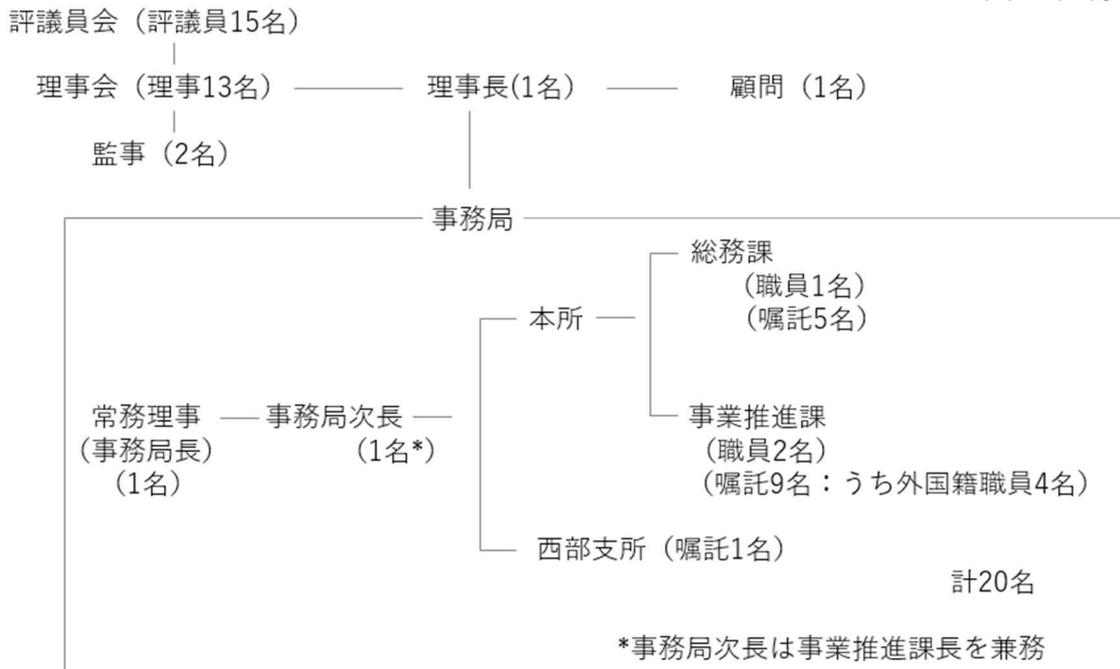
4. 参考

(1) 移転先施設の平面図



(2) (公財) しまね国際センターの組織図

令和8年2月1日



島根かみあり国スポ・全スポに要する経費について

1 島根かみあり国スポ・全スポに要する経費の見込み

項目	これまでの見込み A	R7年度時点 B	B-A
①施設整備費	140億円程度	164億円程度	/
②開催準備経費・運営費	90億円程度	110億円程度	
③競技力向上対策	36億円程度	45億円程度	
合計	266億円程度	319億円程度	+53億円程度

【これまでの経費概算の考え方（先催県への聞き取りによる）】

- ① 140億円程度：H29以降開催で既存施設の改修を中心に整備した4県の最大値
- ② 90億円程度：R元以降開催4県の平均値
- ③ 36億円程度：H29以降開催6県の平均値

2 各項目の内容

① 施設整備費

- ・ 164億円程度：R6年度に実施した中央競技団体の視察での指摘事項等を踏まえ、各施設の整備内容を検討し、概算事業費を算出。

項目	主な整備内容	概算事業費
島根県立水泳プール	50m・25mプールの改修	10億円程度
島根県立サッカー場	照明のLED化、天然芝の張替、スコアボードの更新	8億円程度
島根県立浜山公園陸上競技場	照明の設置、メインスタンドの増設、走路の改修、電光掲示板の更新	60億円程度
島根県立浜山公園野球場	外野の拡張、内野スタンドの改修	7億円程度
島根県立横田高校ホッケー場	人工芝の張替	6億円程度
島根県ライフル射撃場 (島根県スポーツ協会への補助)	50m・10m射場の改修	7億円程度
自転車競技場 (島根県スポーツ協会への補助)	新設整備	21億円程度
市町村競技施設整備補助	—	28億円程度
上記以外の施設（17施設）	—	17億円程度
合計		164億円程度

※R7年4月時点で、県内の公共工事の労務単価は、R2年度から約20～30%、資材単価は、R2年度から約20～90%上昇している。なお、今後の労務単価や資材単価の上昇は織り込んでいない。

※上記以外の施設には練習拠点施設を含む。

② 開催準備経費・運営費

- ・ 110 億円程度：R 4 以降開催 4 県の平均値（聞き取りによる）。

③ 競技力向上対策

- ・ 45 億円程度：36 億円に、トップアスリート支援事業、成年チームに対する強化費の拡充、トップアスリートを雇用した民間企業への支援費用、全スポ競技の普及と競技力向上及び宿泊費高騰等の影響額を加算。

3 県の財政負担の見込みと今後の対応

(単位：億円)

項目	令和7年度末までの支出見込み額				令和8年度以降の支出見込み額				総額			
	財源内訳			一般 財源	財源内訳			一般 財源	財源内訳			
	国費等	県債	一般 財源		国費等	県債	一般 財源		国費等	県債	一般 財源	
①施設整備費	23	7	5	11	141	39	43	59	164	46	48	70
②開催準備経費・運営費	2			2	108			108	110			110
③競技力向上対策	13			13	32			32	45			45
合計	38	7	5	26	281	39	43	199	319	46	48	225

① 施設整備費

- ・ R 元年度時点で試算した約 140 億円は、R 7 年 10 月に改訂した財政見通しに反映済みであり、残り約 24 億円については、次年度の財政見通しに反映させていく。
- ・ 多額の県負担が生じる見込みであることから、再生可能エネルギー固定価格買取制度の適用等による企業会計（電気事業）利益剰余金の一部を活用し、一般財源の縮減を図る。

② 開催準備経費・運営費

- ・ これまで 90 億円を目安に国民スポーツ大会等開催基金の積立てを行ってきており、増額となった 20 億円程度については、次年度以降、基金の積増しを検討する。

【参考】国民スポーツ大会等開催基金 R 7 年度末残高見込 75 億円

③ 競技力向上対策

- ・ 毎年度、一般財源を確保しながら計画的に事業執行を行う。

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名 事業名称	R8当初	R7当初	比較	備考
鳥根かみあり国スポ・ 全スポ準備室	1,171,462	507,903	663,559	【財源】 寄・分 1,000千円 県債 467,300千円 その他 474,480千円 一般財源 228,682千円
1 一般職給与費	224,991	140,255	84,736	一般職員 33人
2 国民スポーツ大会開 催準備事業費	120,247	94,825	25,422	【別紙項目1】【補足説明資料】 ・ 準備委員会関係経費 75,645千円 ・ 競技運営関係経費 29,635千円
3 国民スポーツ大会競 技施設整備事業費	759,491	218,506	540,985	【別紙項目2】【補足説明資料】 ・ 競技施設整備事業 632,696千円 ・ 市町村競技施設整備費補助金 126,795千円 ＜R7年度2月補正(初日)＞ 341,688千円 (県立サッカー場・横田高校ホッケー場 の照明改修)
4 国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大 会開催基金積立事業費	46,200	36,056	10,144	・ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基 金積立事業(利子収入・募金(寄附金)の積立)
5 全国障害者スポーツ 大会開催準備事業費	17,503	16,811	692	【別紙項目3】【補足説明資料】 ・ 全国障害者スポーツ大会開催準備事業 2,203千円 ・ ボランティア養成事業 15,300千円
6 スポーツ振興諸費	3,030	1,450	1,580	

債務負担行為(一般会計)

事項/(内容)	期間	限度額
国民スポーツ大会競技施設 整備事業費 (県立水泳プール空調設備の改修等)	令和8年度から 令和9年度まで	97,879千円
国民スポーツ大会競技施設 整備事業費 (県立水泳プール25mプールの改修等) (県立サッカー場天然芝の改修等)	令和9年度	868,571千円

令和8年度当初予算主要事業の概要（島根かみあり国スポ・全スポ準備室）

※ 金額は令和8年度当初予算額（補正予算を含む場合は下段に内数で表示）

※（ ）内は一般財源

1 国民スポーツ大会開催準備事業費

120,247 千円（ 0 千円）

令和12年に開催を予定している島根かみあり国スポ・全スポに向けて、競技役員等の養成、県民向け広報活動等の取組を実施

- ・ 競技団体が行う競技運営に必要な審判員等養成の取組を支援【拡充】
- ・ 競技運営に必要な競技用具調査等を実施
- ・ 開・閉会式輸送計画素案や医療救護対策の要項等を策定
- ・ 準備委員会（総会、常任委員会、各専門委員会）の開催
- ・ ホームページ等による広報、大会イメージソング及びダンスの普及【拡充】
- ・ 募金（寄附）支援の呼びかけ
- ・ 地元スポーツチームの応援など、県民一体となって大会を盛り上げる「県民参加」の取組を推進

2 国民スポーツ大会競技施設整備事業費

1,101,179 千円（342,349 千円）

[うち補正]

341,688 千円（341,688 千円）

島根かみあり国スポに向け、県立水泳プール、県立サッカー場及び横田高校ホッケー場の整備、並びに、自転車競技場の整備等を行う島根県スポーツ協会への支援、市町村競技施設の整備支援等を実施

- ・ 県立水泳プールを改修（工事）……債務負担行為（R9年度）688,771 千円
（R8～9年度）97,879 千円
- ・ 県立サッカー場を改修（工事）……債務負担行為（R9年度）179,800 千円
- ・ 横田高校ホッケー場を改修（設計・工事）【新規】
- ・ 島根県スポーツ協会が行う競技施設の整備に要する経費を支援
 - 自転車競技場を整備（設計） ※造成工事は県実施
 - 島根県ライフル射撃場を改修（設計）
- ・ 市町村が行う競技施設の整備に要する経費を支援

3 全国障害者スポーツ大会開催準備事業費

17,503 千円 (0 千円)

島根かみあり全スポに向け、競技会場施設のバリアフリー調査、情報支援ボランティアの養成等の取組を実施

- ・障がい区分と出場競技・種目の適合について判断を行う審査員を養成
- ・関係団体と連携し、競技会場施設のバリアフリー状況調査を実施
- ・大会運営に必要な、手話、要約筆記を行う情報支援ボランティアを養成【拡充】
- ・地元スポーツチームの応援など、県民一体となって大会を盛り上げる「県民参加」の取組を推進【再掲】

4 障がい者スポーツ振興事業費（全国障害者スポーツ大会選手強化育成事業）

35,154 千円 (35,154 千円)

※ 予算主管課：スポーツ振興課

島根かみあり全スポに向けて、障がい者スポーツの普及啓発、大会参加選手やチームの育成・強化等の取組を実施

- ・コーディネーターを配置し、大会参加選手の発掘、チームの立ち上げ支援等を実施
- ・大会参加選手の掘り起こし等を行う体験会・出前授業等の拡充及び必要備品等の整備
- ・SNS等を活用した情報発信を行い、全スポ競技への選手参加等を促進

島根かみあり国スポ・全スポ関連事業【補足説明資料】

1. 大会までのスケジュール

年度 (西暦)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
開催まで	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
開催地	滋賀県	青森県	宮崎県	長野県	群馬県	島根県
開催手続	開催申請書 提出		総合視察 (文科省・日本 スポーツ協会)			
	開催内定		開催決定		国スポ リール大会	全スポ リール大会
県民参加 機運醸成	大会広報、募金・寄付等の呼びかけ、イベント開催など					島根かみあり国スポ 全スポ
		県民参加の取組・運営協力呼びかけ			運営ボランティア募集	

◆ 開催内定（令和7年7月16日）



内定にともない、公式ポスター、イメージソングを発表

2. 会場地等の選定状況

	実施競技	選定状況
国 ス ポ	正式競技・特別競技	全 38 競技を選定済み
	公開競技	全 8 競技を選定済み
	デモンストレーションスポーツ (※1)	2 競技を選定済み（第一次） （今春、第二次選定予定）
全 ス ポ	正式競技	全 14 競技を選定済み
	オープン競技 (※2)	未選定（令和8年度から公募予定）

(※1) デモンストレーションスポーツ… 幅広い世代の方が気軽に参加できるスポーツイベントで、ウォーキング、ペタンク、ビリヤードなど（公募で決定）

(※2) オープン競技… 障がいのある方に広くスポーツを普及する目的から有効と認められるもので、卓球バレー、車いすテニスなど（公募で決定）

3. 令和8年度の主な取組概要

(1) 国民スポーツ大会開催準備事業 (120,247千円)

- ① 県準備委員会の運営等
 - ・ 日本スポーツ協会へ会期日程(案)を提出
 - ・ デモンストレーションスポーツの会場地市町村を選定(第三次)
- ② 競技運営関係
 - ・ 競技団体が行う競技運営に必要な審判員養成等の取組を支援【拡充】
 - ・ 競技運営に必要な競技用具調査等を実施
- ③ 輸送・交通、医事・衛生対策
 - ・ 開・閉会式輸送計画素案や医療救護対策の要項等を策定
- ④ 県民向け広報・機運醸成
 - ・ ホームページや新聞広告等を活用した広報の実施
 - ・ 愛称・スローガン、マスコットキャラクターを活用した機運の醸成
 - ・ 大会イメージソング及びダンスの普及【拡充】
 - ・ 募金(寄附)支援の呼びかけ
 - ・ 地元スポーツチームの応援など、県民一体となって大会を盛り上げる「県民参加」の取組を推進

(2) 国民スポーツ大会競技施設整備事業 (1,101,179千円)

[うち補正] 341,688千円

① 県立水泳プール(工事): 88,385千円

…債務負担行為(R9年度) 688,771千円
(R8~9年度) 97,879千円

- ・ 国スポ開催に向けて、外壁、床面、プール水槽等、経年劣化した箇所、設備等の改修を実施



② 県立サッカー場(工事): 580,314千円

…債務負担行為(R9年度) 179,800千円

- ・ 国スポ開催に向けて、電光掲示板、照明の更新(LED化)、経年劣化により必要となった天然芝の改修等を実施



③ 横田高校ホッケー場(設計・工事): 47,512千円【新規】

- ・ 国スポ開催に向けて、経年劣化した人工芝、フェンスの改修等を行うための実施設計費
- ・ 照明の更新(LED化)



④ (公財) 島根県スポーツ協会が行う競技施設の整備支援

- 自転車競技場 (設計・造成工事) : 251,956千円
 - ・ 自転車競技場の新設に向けた周回トラック (バンク) 等の基本設計・実施設計費及び管理棟の実実施設計費
 - ・ 建設予定地である平成スポーツ公園野球場の既存設備の撤去、造成工事 (県実施)



- 島根県ライフル射撃場 (設計) : 6,217千円
 - ・ ライフル射撃場改修に向けた耐震補強設計費



⑤ 市町村競技施設整備費補助金 (16市町 26施設) : 126,795千円

- ・ 国スポに向けて市町村が行う競技施設の整備事業に対し、県が助成

※ R 8 年度申請予定事業は別紙一覧を参照

【補助対象事業】

1. 国スポ施設基準を満たすための必要不可欠な整備事業
2. 中央競技団体正規視察時の指摘事項のうち競技実施のために必要最小限の整備事業
3. 国スポ競技開催時における参加者の危険防止のために行う必要不可欠な整備事業
4. ユニバーサルデザインに対応するための必要最小限の整備事業

事業区分	一般競技施設	特殊競技施設	
		常設	仮設
対象経費	①設計費 ②工事費 ③その他知事が必要と認める経費	①設計費 ②工事費 (仮設に必要な委託、リース、解体撤去等に要する経費を含む) ③補償費 (整備に必要な最小限の経費) ④その他知事が必要と認める経費	
対象範囲	改修	新設	—
補助率	1/2以内	2/3以内	10/10以内
補助限度額	1施設1億円	知事が必要と認める額	
特殊競技施設対象競技	水泳(オープンウォータースイミング)、バレーボール(ビーチ)、自転車(ロード・レース)、弓道(遠的)、ライフル射撃(CP以外)、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、トライアスロン		

※特殊競技施設 …県内に施設基準を満たす既存の施設がないため、常設又は仮設により整備する競技施設

※補助金額 = 補助基準額 (補助対象経費 - 特定財源等控除額) × 補助率
(地方債に対する交付税措置額は「特定財源等控除額」に含まれる)

(別紙)

【令和8年度市町村競技施設整備費補助金 申請見込み事業一覧 (概要)】

※ 執行額等は交付申請の内容を踏まえて決定

(千円)

No	市町村	施設名	実施競技	整備内容	R8 事業費	県補助額
1	松江市	松江市営庭球場	テニス/ソフトテニス	設計費 (芝の張替え等)	8,000	1,600
2		松江市営野球場	高等学校野球	設計費 (ラバーフェンス改修等)	7,465	2,532
3	浜田市	浜田市野球場	軟式野球	設計費 (バックネット改修等)	32,685	3,460
4		浜田市三隅中央公園市民野球場	軟式野球	設計費 (外野フェンスの改修等)	36,692	3,882
5		浜田市陸上競技場	サッカー	設計費 (グラウンド整備等)	37,322	3,928
6		浜田市三隅中央公園陸上競技場	サッカー	設計費 (グラウンド整備等)	18,177	1,917
7		サン・ビレッジ浜田	サッカー	設計費 (グラウンド整備等)	29,436	4,428
8	出雲市	出雲健康公園出雲ドーム	ソフトボール	既存設備の撤去 (音響設備更新)	14,080	4,394
9	益田市	益田市民球場	軟式野球	排水溝のラバー敷設等	24,764	3,736
10	大田市	大田総合体育館	空手道/銃剣道	アリーナ空調の改修、トイレのUD化	316,000	23,700
11	安来市	安来市民体育館	フェンシング/バレーボール	設計費 (床の改修等)	15,000	2,250
12	江津市	江津中央公園多目的広場	ラグビーフットボール	設計費 (人工芝の敷設等)	12,000	900
13		浜田市陸上競技場	ラグビーフットボール	設計費 (ゴールポスト埋設管等設置工事)	1,000	150
14		江津中央公園江津市民プール	水泳 (水球)	設計費 (多目的トイレ新設等)	10,000	750
15	雲南市	大東公園野球場	ソフトボール	設計費 (グラウンド整備)	3,300	495
16		加茂中央公園野球場	ソフトボール	設計費 (グラウンド整備)	3,300	495
17		加茂中央公園多目的広場	ソフトボール	設計費 (グラウンド整備)	2,750	430
18	奥出雲町	三成公園ホッケー場	ホッケー	人工芝の張替	540,000	40,500
19	飯南町	頓原町民野球場	ソフトボール	トイレのUD化等	15,000	2,250
20	川本町	川本町民球場	軟式野球	設計費 (フェンス改修等)	30,000	2,250
21	美郷町	江の川特設コース	カヌー (SL/WW)	設計費 (コースの設置)	6,545	6,545
22	邑南町	瑞穂球場	軟式野球	設計費 (フェンス改修等)	30,433	4,576
23		いわみスタジアム	軟式野球	設計費 (フェンス改修等)	33,109	4,969
24	津和野町	日原カントリーパーク	スポーツクライミング	設計費 (ボルダー施設の建設)	13,500	2,700
25	吉賀町	吉賀町真田グラウンド	サッカー	設計費 (芝の張替え等)	17,498	2,658
26	西ノ島町	西ノ島町内特設コース	トライアスロン	設計費 (コースの設置)	1,300	1,300
計					1,259,356	126,795

(3) 全国障害者スポーツ大会開催準備事業 (17,503千円)

① 資格審査員事業

- 障がい区分と出場競技・種目の適合について判断を行う審査員を養成（理学療法士等）

② バリアフリー状況調査

- 関係団体と連携し、競技会場施設のバリアフリー状況を調査

③ 情報支援ボランティアの養成

- 大会の運営に必要な、手話・要約筆記を行う情報支援ボランティアの養成【拡充】

④ 機運醸成

- 地元スポーツチームの応援など、県民一体となって大会を盛り上げる「県民参加」の取組を推進【再掲】

(4) 障がい者スポーツ振興事業（全スポ選手強化育成事業）(35,154千円)

① 選手強化育成

- コーディネーターを配置し、大会参加選手の発掘、チームの立ち上げ支援等を実施

② 全スポ競技種目普及

- 大会参加選手の掘り起こし等を行う体験会・出前授業等の拡充及び必要備品等の整備
- SNS等を活用した情報発信を行い、全スポ競技への選手参加等を促進

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名 事業名称	R8当初	R7当初	比較	備考
スポーツ振興課	1,817,828	1,680,541	137,287	【財源】 使・手 46,006千円 寄・分 5,000千円 県債 35,600千円 その他 337,704千円 一般財源 1,393,518千円
1 一般職給与費	102,110	77,146	24,964	一般職員 13人
2 生涯スポーツ推進事業費	39,091	32,914	6,177	【別紙項目1】 ・ 広域スポーツセンター運営費 26,672千円 ・ スサノオマジックを活用した地域振興事業 4,500千円
3 競技スポーツ普及強化推進事業費	44,127	42,585	1,542	・ 地域が輝くスポーツしまね推進プロジェクト 25,726千円 ・ 島根県スポーツ功労者顕彰事業 1,151千円
4 国民スポーツ大会選手派遣事業費	174,752	124,274	50,478	・ 本大会派遣 131,245千円 ・ 中国ブロック大会派遣 38,681千円 ・ 県予選運営 4,826千円
5 障がい者スポーツ振興事業費	127,352	76,851	50,501	・ 障がい者スポーツ振興事業 【別紙項目2】 92,198千円 ・ 全国障害者スポーツ大会選手強化育成事業 【別紙項目3】 35,154千円
6 国民スポーツ大会競技力向上対策事業費	885,898	858,758	27,140	【別紙項目4】 ・ 組織体制の整備・充実 10,507千円 ・ 選手の発掘・育成・強化 350,749千円 ・ 指導者の養成・資質の向上 37,025千円 ・ 選手・指導者を支える環境整備 420,598千円
7 県立体育施設管理運営事業費	427,295	411,154	16,141	・ 県立体育施設管理運営事業(指定管理) (人件費や物価の上昇を反映 43,237千円)
8 障がい者利用施設運営事業費	12,898	53,343	▲ 40,445	・ 県立はつらつ体育館管理運営事業(指定管理) (人件費や物価の上昇を反映 1,029千円)
9 スポーツ振興基金積立事業費	297	246	51	・ スポーツ振興基金利子収入の積立
10 スポーツ振興諸費	4,008	3,270	738	

債務負担行為(一般会計)

事項/(内容)	期間	限度額
県立体育施設管理運営事業費 (幼児用プールの遊具更新)	令和8年度から 令和9年度まで	26,602千円

令和8年度当初予算主要事業の概要（スポーツ振興課）

※ 金額は令和8年度当初予算額

※ () 内は一般財源

1 生涯スポーツ推進事業費

39,091千円(35,917千円)

県民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツをする機会の提供や、スポーツに関心を持ってもらえる取組を実施

- ・ 広域スポーツセンターの運営
- ・ 島根県スポーツ・レクリエーション祭の実施
- ・ 地域で運動あそびなどの活動を行う各種団体との連携
- ・ 島根スサノオマジックによる夢授業、部活動指導

2 障がい者スポーツ振興事業費（障がい者スポーツ振興事業）

92,198千円(92,198千円)

障がいのある方に、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験してもらうとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の促進に寄与する取組を実施

- ・ 島根県障がい者スポーツ大会の実施（11競技）
- ・ 全国障害者スポーツ大会（青森大会）及び中四国ブロック予選会に出場する選手・役員の派遣、選手の育成強化
- ・ 障がい者スポーツ活動の普及、練習会・記録会

再掲

3 障がい者スポーツ振興事業費（全国障害者スポーツ大会選手強化育成事業）

35,154千円(35,154千円)

島根かみあり全スポに向けて、障がい者スポーツの普及啓発、大会参加選手やチームの育成・強化等の取組を実施

- ・ コーディネーターを配置し、大会参加選手の発掘、チームの立ち上げ支援等を実施
- ・ 大会参加選手の掘り起こし等を行う体験会・出前授業等の拡充及び必要備品等の整備
- ・ SNS等を活用した情報発信を行い、全スポ競技への選手参加等を促進

4 国民スポーツ大会競技力向上対策事業費

885,898 千円 (512,115 千円)

令和 12 年に開催を予定している島根かみあり国スポに向けた競技力向上と大会終了後の競技力の定着に向けた以下の対策等を実施

① 組織体制の整備・充実 10,507 千円 (10,507 千円)

競技団体が先催県等から競技力向上の取組事例・手法を学ぶ調査活動や、ふるさと選手確保・県内就職支援のために県外大学等を訪問する経費を支援

② 選手の発掘・育成・強化 350,749 千円 (330,049 千円)

- ・ 競技団体が行う体験会や教室の開催を支援
- ・ 「しまねアスリートキッズ」に認定した小学生を、競技人口の少ない競技を中心に選手として育成
- ・ 中学校に部活動がない競技のクラブ運営を支援し、小学校から高校まで継続して選手育成できる環境を整備
- ・ 中学校在学時に全国大会等で上位入賞した高校生の競技活動費及び寮費等を支援
- ・ 国スポ強化指定校や競技団体の県外遠征費等を支援
- ・ 全国大会での上位入賞等の競技成績を有し、県内企業に勤務しながら競技継続する選手の競技活動費等を支援
- ・ 優れた選手、指導者を県内企業が雇用した場合に奨励金を支給

③ 指導者の養成・資質の向上 37,025 千円 (37,025 千円)

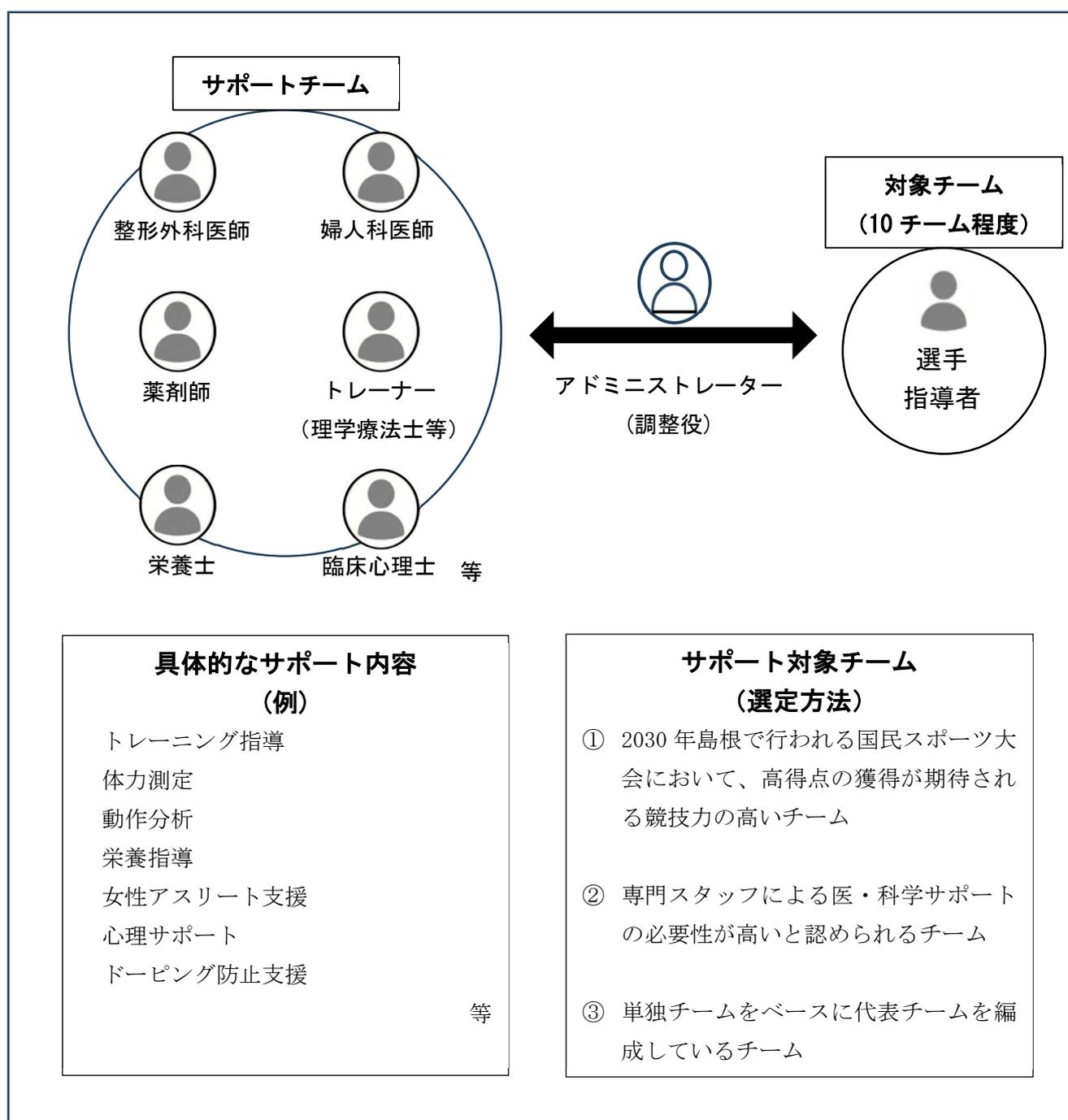
- ・ 国スポ強化指定校等に専門的な指導ができる地域指導者等を配置
- ・ 国スポ強化指定校や競技団体の指導者を対象に年間カリキュラムによる研修を実施

④ 選手・指導者を支える環境整備 420,598 千円 (73,328 千円)

- ・ 普及・強化活動に必要な競技用具及び練習拠点施設（横田公園ホッケー練習場など）を整備
- ・ 医・科学サポートの必要性が高い競技に対し、ドクター、トレーナー、栄養士等の専門スタッフが連携してサポートを実施（別紙）【新規】

国スポに向けた専門スタッフの連携によるサポート体制

- これまで各専門スタッフが個別に実施していたチームへのサポート体制を見直し
- 専門スタッフによるサポートチームを構成し、各専門スタッフが連携する効果的なサポート体制を構築



令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8当初	R7当初	比較	備考
事業名称				
自然環境課	998,179	942,068	56,111	[財源] 国 191,993千円 使・手 612千円 県債 66,100千円 その他 8,750千円 一般財源 730,724千円
1 一般職給与費	87,314	92,694	▲ 5,380	一般職員 12人
2 しまねの自然公園満喫プロジェクト推進事業費	125,964	95,604	30,360	【別紙項目1】 ・ 受入環境の整備 89,000千円 ・ 自然公園を活用した誘客促進補助金 24,000千円 ・ 自然公園の魅力発信 9,104千円
3 隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業費	177,974	204,977	▲ 27,003	【別紙項目2】 ・ ユネスコ世界ジオパーク認定継続支援施設整備 67,300千円 ・ ジオパーク拠点施設・中核施設整備支援 69,537千円 ・ (一社)隠岐ジオパーク推進機構の活動・広報等支援 34,884千円 ＜R7年度2月補正(初日)＞ 10,000千円 (油井ノ池園地木道再整備)
4 三瓶自然館サヒメル等の施設管理運営事業費	426,276	447,883	▲ 21,607	・ 三瓶自然館サヒメル等の管理運営事業(指定管理) 399,693千円 (人件費や物価の上昇を反映 62,642千円) ・ 三瓶小豆原埋没林保存・活用事業 9,000千円 ＜R7年度2月補正(初日)＞ 77,086千円 (三瓶自然館等の照明LED化)
5 自然公園管理事業費	20,940	20,163	777	・ 関係市町村への自然公園施設管理委託料 9,127千円 ・ 自然公園施設の維持補修費 4,261千円
6 中国自然歩道管理事業費	10,040	9,595	445	・ 関係市町村への中国自然歩道管理委託料 8,412千円 ・ 中国自然歩道の維持補修費 1,623千円
7 市町村自然公園等施設整備支援事業費	119,750	26,950	92,800	・ 国立公園等の整備を実施する市町村へ交付金を配分(出雲市外7)
8 自然保護のための情報収集・整理事業費	541	4,333	▲ 3,792	・ 自然環境保全審議会開催経費等
9 しまねの希少野生動植物等普及啓発事業費	10,730	21,307	▲ 10,577	・ 自然観察会、自然教育セミナー等実施経費 4,929千円 ・ 希少野生動植物保護推進事業 1,076千円
10 自然公園美化清掃交付金	3,840	3,800	40	・ 自然公園の美化清掃に要する経費を市町村へ交付
11 自然環境保全地域の保全事業費	2,525	2,243	282	・ 自然環境保全地域(6箇所)管理委託料 1,307千円 ・ 自然環境保全地域担い手育成講習会経費 1,000千円
12 県民参加による自然保護活動事業費	5,475	5,275	200	【別紙項目3】 ・ ボランティアによる整備支援費 1,000千円 ・ 自然保護ボランティア育成事業 842千円
13 自然環境諸費	6,810	7,244	▲ 434	

令和8年度当初予算主要事業の概要（自然環境課）

※ 金額は令和8年度当初予算額（補正予算を含む場合は下段に内数で表示）

※（ ）内は一般財源

1 しまねの自然公園満喫プロジェクト推進事業費

125,964千円（55,964千円）

大山隠岐国立公園をはじめ、県内の自然公園において、島根の豊かな自然環境等を活用した体験プログラムの造成やガイド養成など、民間団体等の行う自然公園への誘客促進の取組を支援するとともに、安全・安心で快適に滞在できる環境を整備

① 受入環境の整備

89,000千円（19,000千円）

- ・旅伏山・鰐淵寺モデルコース 歩道再整備
- ・枕木山・大平山モデルコース 歩道再整備
- ・千丈溪モデルコース 歩道再整備
- ・大麻山・室谷モデルコース 歩道再整備
- ・三瓶山周回線道路（自転車道） 舗装再整備
- ・日御碕鷺浦線道路（歩道） 歩道再整備
- ・吾妻山大膳原野営場 テントサイト等施設再整備

② 自然公園を活用した誘客促進補助金

24,000千円（24,000千円）

自然公園を活用した体験プログラムの造成・拡充や、周遊促進、活動広報などの取組を支援し、県内の自然公園への誘客を促進

③ 自然公園の魅力発信

9,104千円（9,104千円）

国内外からの誘客を促進するため、県内の自然公園の魅力をホームページ等で発信

2 隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業費	187,974 千円 (114,474 千円)
	[うち補正]
	10,000 千円 (0 千円)

隠岐ユネスコ世界ジオパークを活用した隠岐地域の観光振興等のため、ユネスコ世界ジオパーク内の施設整備を実施するとともに、関係機関と連携し、認知度向上・来島者増加のための取組を支援

- ① ユネスコ世界ジオパーク認定継続支援のため施設整備等を実施
- 77,300 千円 (3,800 千円)
- [うち補正]
- 10,000 千円 (0 千円)
- ・油井ノ池園地 木道再整備
 - ・尾白鼻園地 展望デッキ再整備
 - ・海苔田鼻線道路（歩道） 遊歩道法面崩壊対策

- ② 隠岐の島町、海士町のジオパーク拠点施設・中核施設の整備を支援
- 69,537 千円 (69,537 千円)

- ③ (一社) 隠岐ジオパーク推進機構による魅力向上のための活動、広報等を支援
- 34,884 千円 (34,884 千円)

3 県民参加による自然保護活動事業費	5,475 千円 (4,353 千円)
---------------------------	-----------------------------

身近な地域の貴重な自然や自然公園等を住民自らが守り、活用、啓発していくボランティア活動を支援

- ① ボランティアによる整備支援費
- 1,000 千円 (500 千円)
- 住民の自発的な保全活動により守られている地域を選定し、自然の価値や大切さを伝えるための看板を設置することにより、自然保護の普及・啓発を実施
- ② 自然保護ボランティア育成事業
- 842 千円 (220 千円)
- 自然の価値・魅力を伝え、自発的に自然を守る活動ができる人材（自然観察指導員等）の養成講習会を実施

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名 事業名称	R8当初	R7当初	比較	備考
環境政策課	1,134,279	1,091,393	42,886	[財源] 国 251,291千円 使・手 727千円 その他 152,947千円 一般財源 729,314千円
1 一般職給与費	178,208	158,960	19,248	一般職員 23人
2 エコライフ推進事業費	464,086	425,130	38,956	【別紙項目1】 ・ しまね脱炭素加速化事業 263,467千円 ・ 再生可能エネルギー活用総合推進事業 96,280千円 ・ 脱炭素・循環型社会の実現に向けた普及啓発 ※ 一部事業に産業廃棄物減量促進基金充当 104,339千円
3 産業廃棄物減量促進基金造成事業費	346,098	310,122	35,976	・ 産業廃棄物減量促進基金造成事業
4 環境保全企画推進費	5,662	5,139	523	・ 環境審議会関係経費 5,034千円 ・ 電気自動車急速充電器管理費 390千円 ・ しまね環境基金積立金 238千円
5 大気環境保全対策事業費	69,748	106,822	▲ 37,074	・ 大気環境監視事業 56,462千円 ・ 酸性雨影響調査事業 7,751千円 ・ 大気汚染防止法監視指導事業 5,535千円
6 しまねの水環境モニタリング事業費	20,442	21,738	▲ 1,296	・ 公共用水域・地下水常時監視事業 10,967千円 ・ 工場・事業場等排水監視事業 4,940千円 ・ データ処理システムの運用保守 3,429千円
7 土壌環境保全事業費	259	216	43	・ 休廃止鉱山周辺環境調査
8 騒音・振動・悪臭対策費	1,966	1,985	▲ 19	・ 航空機騒音監視事業 1,422千円 ・ 自動車騒音常時監視等 544千円
9 公害紛争処理対策事業費	370	236	134	・ 公害紛争処理対策
10 環境影響評価制度推進事業費	1,335	1,218	117	・ 環境影響評価制度推進
11 宍道湖・中海水質保全事業費	20,792	20,579	213	【別紙項目2】 ・ 水質汚濁メカニズム調査事業 14,090千円 ・ アオコ等プランクトン調査事業 1,155千円 ・ 水草対策等推進事業 1,045千円
12 宍道湖・中海賢明利用推進事業費	10,537	22,768	▲ 12,231	【別紙項目3】 ・ ラムサール・大型水鳥啓発事業 4,366千円 ・ 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業 2,006千円
13 温泉源の保護と適正活用事業費	514	332	182	・ 温泉掘削・動力設置許可事務
14 環境政策諸費	14,262	16,148	▲ 1,886	

債務負担行為(一般会計)

事項/(内容)	期間	限度額
しまねの水環境モニタリング事業費 (環境情報システム等の更新および運用保守)	令和9年度から 令和13年度まで	50,132千円

令和8年度当初予算主要事業の概要（環境政策課）

※ 金額は令和8年度当初予算額

※ () 内は一般財源

1 エコライフ推進事業費

464,086千円(97,627千円)

令和7年3月改訂の【島根県環境総合計画】における温室効果ガス削減目標（2030年度までに39%削減（2013年度比））の達成に向けて、県民、事業者向けの省エネ設備・再生可能エネルギー発電設備の導入支援や、普及啓発などに重点的に取り組んでいく。

【しまね脱炭素加速化事業】

263,467千円(0千円)

国の交付金等を活用し、脱炭素を加速化するための各種補助、普及啓発等を実施

① しまね脱炭素加速化支援事業 233,093千円(0千円)

- ・省エネ設備や太陽光発電設備等を導入する事業者を支援
- ・断熱性能に優れた住宅の新築経費等を補助

② しまね脱炭素アクション創出事業 30,374千円(0千円)

- ・県民向けの体験型脱炭素イベントや省エネ住宅等の普及啓発を実施
- ・事業者の脱炭素化の実践を促すためのワークショップ等を開催
- ・再生可能エネルギーに関する動画の作成などの情報発信を実施

【再生可能エネルギー利活用総合推進事業】

96,280千円(62,138千円)

再生可能エネルギーの導入の推進に関する計画に沿って、各種補助、普及啓発等を実施

① 再生可能エネルギー事業化支援事業 7,500千円(0千円)

市町村、法人等が事業化に向けて行う可能性調査等の経費を助成

② 再生可能エネルギーによる地域活性化支援事業 10,000千円(0千円)

- ・自治会等が地域活性化事業に併せて取り組む設備導入の経費を助成
- ・民間事業者が地域貢献に併せて取り組む設備導入の経費を助成

③ 再生可能エネルギー設備等導入支援事業 62,138千円(62,138千円)

住宅用太陽光発電等の設備導入費を助成した市町村に対して経費を助成

④ 再生可能エネルギー熱利用普及モデル事業 5,400千円(0千円)

家庭用燃料電池（エネファーム）の普及を図るため、導入経費を助成

⑤ 講師派遣、再生可能エネルギー教室等の実施 11,242千円(0千円)

県民、事業者、市町村等を対象に再生可能エネルギーの普及啓発を実施

【脱炭素・循環型社会の実現に向けた普及啓発】**104,339 千円 (35,489 千円)**

環境教育や普及啓発、産業廃棄物等を活用したリサイクル製品への支援等を実施

① 環境に関わる人づくり**14,470 千円 (1,000 千円)**

- ・小中高等学校や特別支援学校等における 3R や産業廃棄物に関する環境教育を支援
- ・学校、自治会、企業等へ「しまね環境アドバイザー」を派遣

② 社会全体での取組の推進**49,275 千円 (0 千円)**

- ・住宅の省エネルギー化をテーマとしたセミナー等を開催
- ・エコ経営相談やエコアドバイザーの派遣により、企業の環境配慮型経営を促進
- ・しまねグリーン製品+ (プラス) の利活用を促進

2 宍道湖・中海水質保全事業費**20,792 千円 (20,792 千円)**

宍道湖・中海の効果的な水質保全対策を検討するための調査・研究等を実施

① 水草対策等推進事業**1,045 千円 (1,045 千円)**

水草の繁茂状況を把握するための調査を実施

② アオコ等プランクトン調査事業**1,155 千円 (1,155 千円)**

アオコ発生のプロセス等を解明するためのデータ収集と調査分析を実施

③ 水質汚濁メカニズム調査事業**14,090 千円 (14,090 千円)**

メカニズム解明に必要な調査・研究、専門家による検討会を実施

④ 湖沼水質保全活動促進事業**750 千円 (750 千円)**

流域住民、団体等と協働して環境学習会や清掃活動を実施

3 宍道湖・中海賢明利用推進事業費**10,537 千円 (4,548 千円)**

ラムサール条約湿地である宍道湖・中海の保全再生と、そこから得られる恵みを持続的に活用するために、賢明利用 (ワイズユース) を関係機関と連携して促進

① 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業**2,006 千円 (553 千円)**

小中学生を対象とした宍道湖や中海に流入する身近な川の調査や、湖沼環境モニターによる湖沼環境の評価を実施

② ラムサール・大型水鳥啓発事業**4,366 千円 (330 千円)**

- ・鳥取県と連携し、こどもラムサール交流会等を実施
- ・宍道湖・中海の魅力を伝える動画を制作

③ 大型水鳥を活用した広域ネットワーク支援事業**500 千円 (0 千円)**

民間団体、関係市及び県で構成する協議会による、トキやコウノトリの生息環境づくりや普及啓発の取組を支援

令和8年度当初予算 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	R8当初	R7当初	比較	備考
事業名称				
廃棄物対策課	262,142	209,898	52,244	[財源] 国 7,311千円 使・手 24,318千円 その他 84,459千円 一般財源 146,054千円
1 一般職給与費	77,630	76,012	1,618	一般職員 10人
2 公共関与最終処分場確保対策事業費	72,220	24,060	48,160	・ 公共関与最終処分場整備事業【別紙項目1】 51,100千円 ・ 公共関与最終処分場経営安定化対策事業補助金(第1期工事建設費償還支援) 21,120千円
3 不法投棄等対策強化事業費	26,380	27,092	▲ 712	・ 監視カメラ、不法投棄防止啓発看板設置 9,195千円 ・ 廃棄物適正処理指導員の配置 8,441千円 ・ 優良認定産業廃棄物処理業者育成事業 2,794千円 ※ 一部事業に産業廃棄物減量促進基金充当
4 事業者の3R推進事業費	48,000	48,000	0	・ 産業廃棄物3R推進施設等整備補助金 ※ 産業廃棄物減量促進基金充当
5 産業廃棄物処理施設の許可・監視・指導等事務費	7,699	5,584	2,115	・ 産業廃棄物最終処分場水質調査 3,440千円 ・ 廃棄物最終処分場管理手法調査研究事業 3,443千円 ※ 一部事業に産業廃棄物減量促進基金充当
6 浄化槽適正管理指導啓発等事業費	359	359	0	・ 島根県浄化槽普及管理センター会費 200千円 ・ 浄化槽排水検査委託費 159千円
7 海岸漂着ごみ等の回収・処理対策事業費	8,000	8,000	0	【別紙項目2】 ・ 海岸漂着物の発生対策に関する啓発 8,000千円 <R7年度2月補正(初日)> 286,304千円
8 一般廃棄物処理施設整備事業費	3,585	3,440	145	・ 会計年度任用職員人件費
9 PCB廃棄物処理推進事業費	0	76	▲ 76	※ 12 化学物質対策事業費として整理
10 ダイオキシン類対策事業費	0	6,608	▲ 6,608	※ 12 化学物質対策事業費として整理
11 環境ホルモン対策事業費	0	865	▲ 865	※ 12 化学物質対策事業費として整理
12 化学物質対策事業費	8,299	0	8,299	・ PCB廃棄物保管事業者適正処理広報費 76千円 ・ 環境中の汚染濃度測定委託費 6,374千円 ・ 化学物質環境実態調査(環境省委託事業) 911千円 ※ 一部事業に産業廃棄物減量促進基金充当
13 災害時等の廃棄物処理対策事業費	4,899	4,591	308	・ 災害時等の廃棄物処理対策研修・訓練実施 ※ 産業廃棄物減量促進基金充当
14 廃棄物対策諸費	5,071	5,211	▲ 140	

令和8年度当初予算主要事業の概要（廃棄物対策課）

※ 金額は令和8年度当初予算額（補正予算を含む場合は下段に内数で表示）

※（ ）内は一般財源

1 公共関与最終処分場整備事業

51,100千円(51,100千円)

（公財）島根県環境管理センターが実施する産業廃棄物最終処分場「クリーンパークいずも」の管理型処分場の第4期工事に要する経費の一部を助成

令和8年度は、（公財）島根県環境管理センターが実施する周辺環境整備事業を支援

2 海岸漂着ごみ等の回収・処理対策事業費

294,304千円(19,000千円)

[うち補正]

286,304千円(17,400千円)

海岸の環境を保全するため、県内全域で繰り返し確認されている海岸漂着物の回収・処理等を、日本海に面する県内10市町村で実施

① 海岸漂着物の回収・処理の実施

286,304千円(17,400千円)

[うち補正]

286,304千円(17,400千円)

② 海岸漂着物の発生源対策に関する啓発を行うための漂着物の実態調査

8,000千円(1,600千円)

令和7年度島根県一般会計補正予算（第12号）の概要
（令和7年度2月補正（中日上程））

課別予算額（一般会計）

（単位：千円）

課名	補正前の額 A	補正額 B	計 A+B
環境生活総務課	361,832	▲ 21,928	339,904
人権同和対策課	291,460	▲ 6,983	284,477
文化国際課	2,179,028	75,903	2,254,931
スポーツ振興課	1,748,755	▲ 23,970	1,724,785
島根かみあり国スポ・ 全スポ準備室	1,288,844	▲ 89,245	1,199,599
自然環境課	1,032,374	▲ 61,102	971,272
環境政策課	1,108,974	7,480	1,116,454
廃棄物対策課	499,644	▲ 5,927	493,717
部計	8,510,911	▲ 125,772	8,385,139

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
環境生活総務課	361,832	▲ 21,928	339,904	[補正額の財源] 国 139千円 寄・分 ▲2,602千円 その他 ▲18,816千円 一般財源 ▲649千円
1 一般職給与費	185,619	▲ 210	185,409	一般職員 21人
2 活動団体の自立促進と活性化事業費	35,483	▲ 13,129	22,354	NPO活動総合支援融資制度に係る金融機関への預託金の実績に基づく減
3 しまね社会貢献推進事業費	30,878	▲ 8,289	22,589	補助金申請額の実績に基づく減
4 学校における消費者教育の推進事業費	7,417	▲ 300	7,117	

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
人権同和対策課	291,460	▲ 6,983	284,477	[補正額の財源] 国 ▲4,494千円 その他 ▲622千円 一般財源 ▲1,867千円
1 一般職給与費	92,156	98	92,254	一般職員 11人
2 人権啓発事業費	20,951	▲ 2,442	18,509	人権啓発活動地方委託金の内示減等
3 人権研修事業費	38,589	▲ 103	38,486	
4 人権施策調整事務費	595	▲ 54	541	
5 隣保館運営等事業費	125,660	▲ 3,860	121,800	※ 繰越明許費(追加) 限度額: 38,408千円
6 国庫支出金返還金	1,278	▲ 622	656	

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
文化国際課	2,179,028	75,903	2,254,931	[補正額の財源] 国 ▲6,005千円 使・手 ▲4,999千円 県債 ▲2,600千円 その他 107,163千円 一般財源 ▲17,656千円
1 一般職給与費	262,859	754	263,613	一般職員 32人
2 旅券事務費	32,088	▲ 171	31,917	
3 国際海外協力事業費	1,231	▲ 610	621	
4 多文化共生推進事業費	227,242	▲ 12,277	214,965	・教育支援体制整備事業費補助金の内示減 ▲2,053千円 ・外国人受入環境整備交付金の内示減 ▲3,400千円 ・多文化共生推進拠点の改修に係る設計費の減 ▲2,880千円 ほか
5 外国青年招致事業費	27,486	▲ 5,322	22,164	国際交流員の減(ロシア 1名→0名)
6 国際交流推進事業費	24,162	▲ 5,231	18,931	助成金の不採択による減等
7 文化芸術振興支援事業費	21,278	101,238	122,516	教育文化振興基金積立金の増等
8 県立美術館事業費	546,168	▲ 4,203	541,965	光熱費確定に伴う指定管理料の調整等
9 芸術文化センター事業費	635,343	1,633	636,976	光熱費見込みに基づく指定管理料の調整等
10 島根県民会館事業費	311,400	92	311,492	光熱費確定に伴う指定管理料の調整等

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
スポーツ振興課	1,748,755	▲ 23,970	1,724,785	[補正額の財源] 使・手 3,788千円 寄・分 1,300千円 県債 ▲500千円 その他 ▲52,437千円 一般財源 23,879千円
1 一般職給与費	97,866	78	97,944	一般職員 13人
2 国民スポーツ大会競技力向上対策事業費	905,573	▲ 24,594	880,979	市町村が実施する練習拠点施設の整備内容変更に伴う減等 ※ 繰越明許費(変更) 補正額:180,266千円 (練習拠点施設整備事業)
3 生涯スポーツ推進事業費	32,914	225	33,139	
4 県立体育施設管理運営事業費	411,792	2,924	414,716	光熱費確定に伴う指定管理料の調整等
5 障がい者利用施設運営事業費	53,384	▲ 867	52,517	
6 障がい者スポーツ振興事業費	76,851	▲ 1,736	75,115	パラアスリート等を招へいする競技体験会の実績に基づく減

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
島根かみあり国スポ・全スポ準備室	1,288,844	▲ 89,245	1,199,599	[補正額の財源] 県債 ▲21,100千円 その他 ▲81,331千円 一般財源 13,186千円
1 一般職給与費	179,037	573	179,610	一般職員 24人
2 国民スポーツ大会開催準備事業費	95,229	▲ 7,765	87,464	競技役員養成事業等の実績に基づく減
3 国民スポーツ大会競技施設整備事業費	560,194	▲ 87,492	472,702	・自転車競技場整備に係る地質調査等の実績に基づく減 ▲57,284千円 ・市町村が実施する競技施設整備の事業内容の変更等による補助額の減 ▲11,532千円 ほか ※ 繰越明許費(変更) 補正額:2,496千円 (市町村競技施設整備費補助金)
4 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基金積立事業費	436,056	10,623	446,679	
5 全国障害者スポーツ大会開催準備事業費	16,878	▲ 5,184	11,694	バリアフリー状況調査事業等の実績に基づく減

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
自然環境課	1,032,374	▲ 61,102	971,272	[補正額の財源] 国 ▲29,200千円 使・手 35千円 県債 ▲60,400千円 その他 ▲86千円 一般財源 28,549千円
1 一般職給与費	91,290	▲ 25	91,265	一般職員 12人
2 しまねの自然公園満喫プロジェクト推進事業費	95,604	▲ 7,680	87,924	自然環境整備交付金の内示減 ※ 繰越明許費(変更) 補正額: 5,704千円
3 隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業費	214,977	▲ 50,132	164,845	自然環境整備交付金の内示減 ※ 繰越明許費(変更) 補正額: 10,000千円
4 三瓶自然館サヒメル等の施設管理運営事業費	528,583	▲ 2,551	526,032	三瓶自然館新館及び別館のLED化に係る契約額確定に伴う減等
5 市町村自然公園等施設整備支援事業費	26,950	▲ 477	26,473	
6 自然公園管理事業費	20,567	▲ 44	20,523	
7 自然保護のための情報収集・整理事業費	4,535	▲ 193	4,342	

令和7年度2月補正予算(中) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
環境政策課	1,108,974	7,480	1,116,454	[補正額の財源] 国 ▲106,674千円 使・手 ▲125千円 寄・分 800千円 その他 ▲30,693千円 一般財源 144,172千円
1 一般職給与費	174,689	222	174,911	一般職員 23人
2 エコライフ推進事業費	425,534	▲ 134,508	291,026	しまね脱炭素加速化支援事業、再生可能エネルギー設備等導入支援事業等の実績に基づく減 ※ 繰越明許費(追加) 限度額:7,909千円 (しまね省エネ住宅・再エネ設備パッケージ補助金) (しまね脱炭素加速化事業高効率省エネ設備導入補助金)
3 産業廃棄物減量促進基金造成事業費	310,122	147,346	457,468	税込等に基づく基金造成額の増
4 環境保全企画推進費	5,341	▲ 12	5,329	
5 大気環境保全対策事業費	107,656	▲ 2,709	104,947	環境省受託事業の減
6 環境影響評価制度推進事業費	1,218	▲ 703	515	
7 土壌環境保全事業費	216	▲ 43	173	
8 騒音・振動・悪臭対策費	1,985	▲ 239	1,746	
9 公害紛争処理対策事業費	236	65	301	
10 宍道湖・中海水質保全事業費	20,789	▲ 510	20,279	
11 宍道湖・中海賢明利用推進事業費	22,970	▲ 1,572	21,398	ラムサール条約登録20周年記念事業の実績に基づく減
12 温泉源の保護と適正活用事業費	332	143	475	

令和7年度2月補正予算(中日) 課別事業別一覧(一般会計)

(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	備考
事業名称				
廃棄物対策課	499,644	▲ 5,927	493,717	[補正額の財源] 国 ▲155千円 使・手 3,603千円 その他 ▲4,493千円 一般財源 ▲4,882千円
1 一般職給与費	78,980	▲ 471	78,509	一般職員 10人
2 公共関与最終処分場確保対策事業費	24,060	▲ 23	24,037	
3 不法投棄等対策強化事業費	27,364	▲ 1,514	25,850	不法投棄防止啓発看板の設置・修繕の実績に基づく減等
4 事業者の3R推進事業費	48,000	▲ 1,334	46,666	施設整備費補助事業の申請件数の減等 ※ 繰越明許費(追加) 限度額:30,000千円
5 産業廃棄物処理施設の許可・監視・指導等事務費	5,584	▲ 952	4,632	
6 一般廃棄物処理施設整備事業費	3,642	12	3,654	
7 ダイオキシン類対策事業費	6,608	▲ 525	6,083	
8 環境ホルモン対策事業費	865	▲ 155	710	
9 災害時等の廃棄物処理対策事業費	4,591	▲ 965	3,626	

繰越明許費補正

(追加分)

繰越明許費の限度額を設定する。

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	令和7年度 予算額	繰越 限度額	繰越理由
人権同和対策課	3. 民生費	1. 社会福祉費	隣保館運営等事業費	121,800	38,408	旧建物の残置物等の処分・撤去に不測の日数を要したため
環境政策課	4. 衛生費	5. 環境費	エコライフ推進事業費 (しまね省エネ住宅・再エネ設備パッケージ補助金) (しまね脱炭素加速化事業高効率省エネ設備導入補助金)	291,026	7,909	発注先の業者において、労務者の手配調整、資材の調達等に不測の日数を要したため
廃棄物対策課	4. 衛生費	5. 環境費	事業者の3R推進事業費	46,666	30,000	補助事業者において、資材調達に不測の日数を要したため

(変更分)

11月議会及び2月議会(初日)で提案した限度額を変更する。

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	補正前 限度額	補正額	補正後 限度額	繰越理由
スポーツ振興課	2. 総務費	2. 企画費	国民スポーツ大会競技力向上対策事業費	6,473	180,266	186,739	補助事業者において工法等の検討に不測の日数を要したため
島根かみあり 国スポ・全スポ 準備室	2. 総務費	2. 企画費	国民スポーツ大会競技施設整備事業費	341,688	2,496	344,184	市町村において競技団体及び事業者との調整に不測の日数を要したため
自然環境課	4. 衛生費	5. 環境費	しまねの自然公園満喫プロジェクト推進事業費	10,000	5,704	15,704	工法等の検討に不測の日数を要したため
自然環境課	4. 衛生費	5. 環境費	隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業費	32,000	10,000	42,000	設計変更により不測の日数を要したため

債務負担行為補正

(追加分)

県立はつらつ体育館のアリーナ空調設備新設に伴い、光熱費及び維持管理費相当分を指定管理料として設定

課名	事項	期間	限度額
スポーツ振興課	島根県立はつらつ体育館管理運営事業費	令和8年度から 令和11年度まで	4,548千円

令和8年4月組織改正の概要
(国スポ・全スポの開催に向けた体制の強化) について

○ 組織改正内容

部 ・ 局 課 ・ 室	改 正 概 要
島根かみあり国スポ・全スポ局	<p>【島根かみあり国スポ・全スポ局の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた体制を強化するため、「島根かみあり国スポ・全スポ局」を設置 環境生活部からスポーツ振興課及び島根かみあり国スポ・全スポ準備室(以下「準備室」という。)の業務を移管
総務企画課	<p>【総務企画課の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備室の業務を分割し、総務企画、広報、県民参加の促進及び局の統括業務を行う「総務企画課」を設置
競技運営課	<p>【競技運営課の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備室の業務を分割し、競技運営及び全スポ準備の総合調整業務を行う「競技運営課」を設置
施設調整課	<p>【施設調整課の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備室の業務を分割し、大会会場の整備、輸送・宿泊等の調整業務を行う「施設調整課」を設置

島根かみあり国スポ・全スポ局（続き）

<p>スポーツ振興課</p>	<p>【スポーツ振興課の移管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国スポ・全スポ開催準備とスポーツの振興や競技力向上を一体的に進めるため、環境生活部から「スポーツ振興課」を移管 <p>【全スポ・パラスポーツ振興室の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全スポに向けた選手の強化・育成及びパラスポーツの振興を一元的に推進するため、「全スポ・パラスポーツ振興室」を設置
----------------	--

〔参考〕組織図

令和8年4月	令和7年4月
<p>環境生活部</p> <ul style="list-style-type: none"> （環境生活総務課 ～ 文化国際課 略） 〔廃止〕 〔廃止〕 <p>（以下略）</p>	<p>環境生活部</p> <ul style="list-style-type: none"> （環境生活総務課 ～ 文化国際課 略） スポーツ振興課 （競技力向上推進室） 島根かみあり 国スポ・全スポ準備室 <p>（以下略）</p>
<p>島根かみあり 国スポ・全スポ局</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務企画課 競技運営課 施設調整課 スポーツ振興課 （全スポ・パラスポーツ振興室） （競技力向上推進室） 	<p>〔新設〕</p>

島根県環境総合計画の一部改定（循環型社会の形成）について

1. 概要、経過

- 令和3年3月に、環境基本計画をもとに環境施策に関する諸計画を盛り込んだ島根県環境総合計画を策定 [計画期間] 令和3年度～令和12年度

※令和6年度に「第3章 地球温暖化対策の推進」を一部改訂

- このうち「第4章 循環型社会の形成」については、2025（令和7）年度を目標年度としていることから、2030（令和12）年度の目標を定めるとともに、併せて、この間に制定された法や国計画を踏まえた一部改定を行うもの

[令和3年度以降の国の動き]

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律/第5次循環型社会形成推進基本計画/

廃棄物処理基本方針/第2次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針/第5期消費者基本計画

2. パブリックコメントの実施（実施期間：令和7年12月16日～令和8年1月16日）

寄せられた意見 1件

主な内容	意見に対する県の考え方
まずはごみを出さないことが大事	理念の記載あり (P52) “この計画で目指す循環型社会は、「ごみ」をできるだけ出さない社会”
マイバッグの利用や、食材の使い切り等によるごみの削減を推進してはどうか	取組の方向に記載あり (P69・P71) “消費者啓発の中での環境に配慮した消費行動の促進、エシカル消費の普及促進” “食品ロスに関する消費者教育の推進”等

3. 島根県環境審議会委員からの主な意見

主な意見	意見に対する県の考え方
3Rの中で、リデュース（発生抑制）が最優先と分かるように伝えてほしい	意見を踏まえて記述 (P54ほか) “まずは、マイバッグを利用してレジ袋の使用を減らすといったような、ごみを生まないようにするリデュース（発生抑制）の取組が大切です。”
目標値は、全国平均との差が見えるようにしてほしい	意見を踏まえてグラフに反映 (P58～P64) 全国平均との比較が可能なものについて、グラフにデータを追加しました。
「教育」が重要。楽しく学び、重要性を理解することで、消費行動につながる	意見を踏まえて記述 (P67・P69・P71) 従来の「環境教育の推進」に加え、新たに「消費者教育の推進」を追加。実際の施策展開にあたっては、楽しい体験を通じて学べるよう、これまでの取組をさらに工夫していく

4. 答申内容

(1) 構成の変更

- ・ プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の制定など国全体の動きを踏まえ、「プラスチック資源循環の促進」を追加

【現行計画】 第4章 循環型社会の形成 1. 3Rなどの推進 2. 食品ロスの削減 3. 適正処理の推進	➔	【改定案】 第4章 循環型社会の形成 1. 3Rなどの推進 2. <u>プラスチック資源循環の促進</u> 3. 食品ロスの削減 4. 適正処理の推進
---	---	---

(2) 2030年度目標の設定

- ・ 現行目標の達成状況や、県内産業・市町村の今後の動きを踏まえ、今後5年間で目指すレベルを設定
- ・ 新たな指標として「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を追加

指標		基準年度		目 標		参考:国計画 目標 2030 (R12)
		現行計画 2018 (H30)	改定計画 2023 (R5)	現行計画 2025 (R7)	改定計画 2030 (R12)	
一般廃棄物	排出量	239千 t	215千 t	10%削減 215千 t	9.7%削減 194千 t	9%削減 (R4比)
	1人1日 当たりの 家庭系ごみ排出量 新設	—	534 g	—	524 g	478 g
	再生利用率	21.9%	19.9%	23.0%	18.9%	26.0%
	最終処分量	21千 t	19千 t	14%削減 18千 t	10.5%削減 17千 t	5%削減 (R4比)
産業廃棄物	排出量	1,544千 t	1,716千 t	16%増加に抑制 1,788千 t	6.4%増加に抑制 1,826千 t	1%増加に抑制 (R4比)
	再生利用率	62.9%	65.8%	63.0%	66.5%	37.0%
	最終処分量	205千 t	214千 t	49%増加に抑制 306千 t	22.4%増加に抑制 262千 t	10%削減 (R4比)

5. 改定の経過、今後の予定

令和7年2月	島根県環境審議会に諮問
10月	島根県環境審議会第1回検討部会
12月	環境厚生委員会 状況報告・パブリックコメント
令和8年1月	島根県環境審議会第2回検討部会
3月4日	島根県環境審議会及び答申

5日・6日 環境厚生委員会 報告
(3月中) 改定・公表

(仮称) 浜田リンクス太陽光発電所に係る環境影響評価について

1. 事業概要【別紙1参照】

- (1) 事業名：(仮称) 浜田リンクス太陽光発電所
※配慮書手続きまでの事業名は「(仮称) 浜田太陽光発電所」
- (2) 事業者：PAG Renewables合同会社
- (3) 計画地：島根県浜田市
- (4) 事業種類：太陽電池発電所の設置
- (5) 事業規模：事業用地面積 約155ha（太陽光パネル設置面積 約40ha）
発電所出力 29,900kW
※環境影響評価法対象外（対象：出力3万kW以上）
島根県環境影響評価条例対象（対象：敷地等面積50ha以上）
- (6) 現在の手続き状況：方法書手続き中

2. 経過

- R7. 9. 29 島根県環境影響評価条例に基づく配慮書に対する知事意見を事業者に送付
- R8. 2. 16 方法書を事業者が島根県に提出
※方法書…これから行う環境影響調査・予測・評価の方法を示したもの
- R8. 2. 17 方法書縦覧開始（R8. 3. 19縦覧終了、意見受付はR8. 4. 2まで）
縦覧場所：浜田市役所環境課、浜田市役所各支所、島根県環境政策課
電子縦覧：事業者ホームページ
- R8. 2. 20～28 事業者による住民説明会の実施（浜田市内）

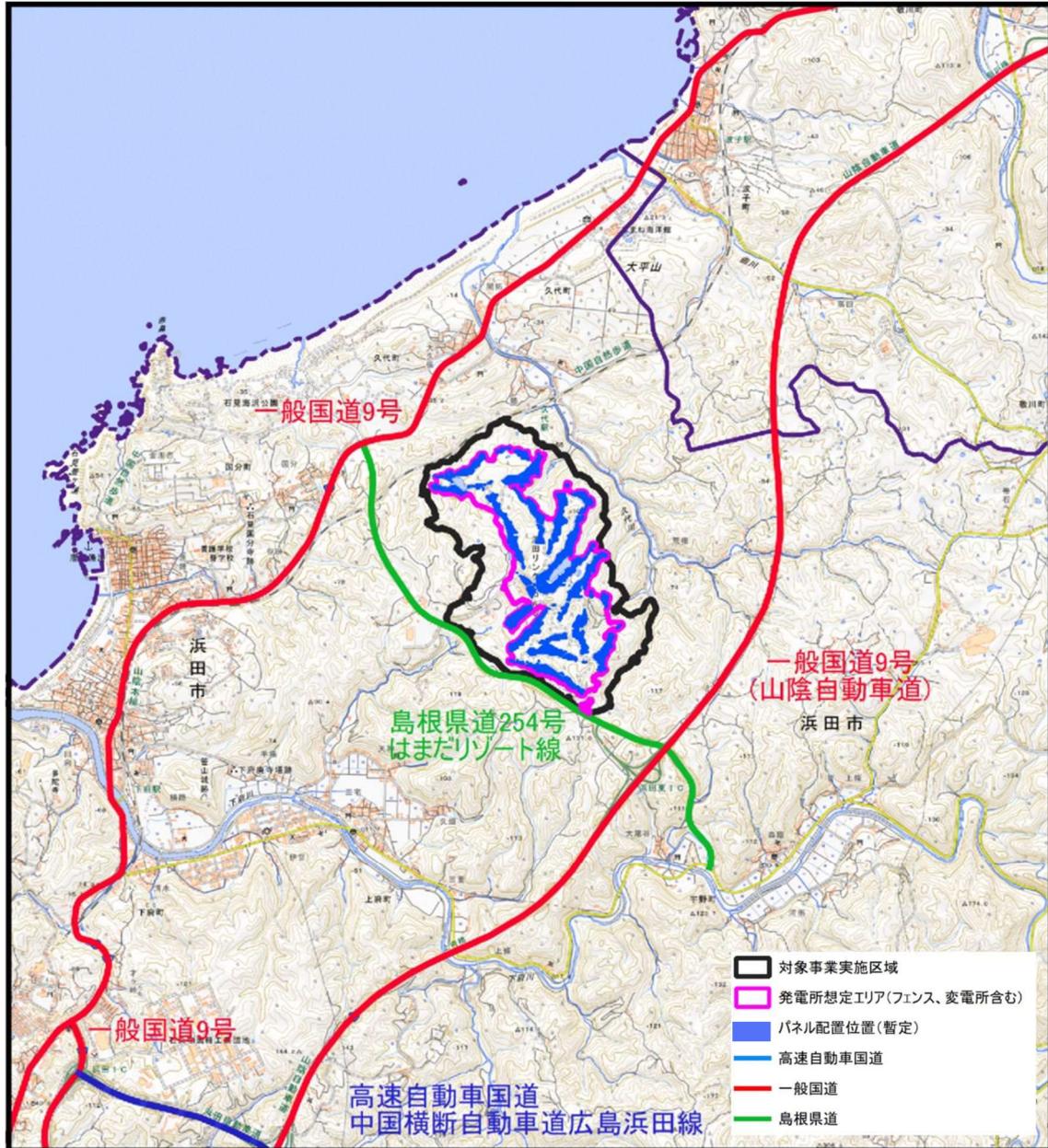
3. 今後の手続きの流れ（第2段階：調査計画）【別紙2参照】

- 住民等意見の概要を事業者が県に送付
- ↓
- 県から浜田市に対して意見照会
- ↓
- 島根県環境影響評価技術審査会（浜田市長意見を踏まえた答申案の審議など）
- ↓
- 技術審査会答申を踏まえた知事意見を事業者あて送付
（事業者から住民等意見の概要の送付を受けてから90日以内）

(仮称) 浜田リンクス太陽光発電所について

出典：(仮称) 浜田リンクス太陽光発電所に係る環境影響評価方法書
 ※一部加工

1. 計画地



2. 発電設備の概要

諸元

種類	結晶シリコン系太陽電池
枚数	66,720 枚 (1 枚当たり、660W) (暫定)
総発電出力	最大 29,900kW (交流) 44,035kW (直流) (暫定)

※配慮書手続きまでの名称は「(仮称)浜田太陽光発電所」

